

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆずっこくらぶ		
○保護者評価実施期間	2025年8月1日		～ 2025年10月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年8月1日		～ 2025年10月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画を作る際や、日々の支援に対して、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	職員全体で利用者の様子を密に共有することでより良い支援に繋がっている	利用者の細かい変化への気づきやこどもの最善を考慮した支援を模索する
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	定期的な内部研修の実施や外部研修への参加また個人でも学びを深められる研修動画ツールを導入している	今後も積極的に研修に参加したり学びを深める
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	療育支援事業の利用により、第三者からの客観的なアドバイスや、職員間では気づけない部分への改善などに役立っている	今後も継続して支援を利用したり施設の見学なども行い業務改善に生かす

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っていない	当事業所に地域の人々を招待するなどは現実的ではないと考えており、地域に対して開かれた事業であるとは断言できない	地域への参加は難しくとも同業種の他事業所や地域へのイベントへの参加など開かれた支援の実現のためにできることに取り組んでいく
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を十分に実施できるとは言えない	マニュアルはすべてHPへの記載をしているがまだ全利用者への周知が完全ではないとの回答が複数あった	しっかりと周知してもらえるようお知らせの配布やHPの閲覧の促進などを行う
3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2-3カ月に1回のペースで保護者会や勉強会・交流会を実施している参加率が全体の20%ほどである	参加しやすいテーマでの実施や土曜日など参加しやすい日時での実施を考える

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ゆずっこくらぶ					公表日	2025 年 10 月 24 日		
					利用児童数	0		回収数	0
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				○	現在児童発達の利用者がいないためアンケートの実施ができず結果がわからない		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。				○			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。				○			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				○			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。				○			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				○			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。				○			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				○			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				○			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。				○			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				○			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				○			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。				○			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。				○			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。				○			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				○			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。				○			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。				○		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				○		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				○		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				○		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				○		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。				○		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。				○		
	29	事業所の支援に満足していますか。				○		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆずっこくらぶ		公表日 2025 年 10 月 24 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		十分なスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		既定の人員配置をクリアしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		適切なスペースを確保している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活動によってスペースを選択できる仕様にしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		なっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2		職員の勤務体系によってまだ全体的に周知はできていないこともあるので今度改善していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者からの意見すべて目を通し改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		適宜ミーティングを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		療育支援事業を導入している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修は適宜行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HPIに記載している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		適宜保護者とも相談を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員会議で話し合いをしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員全体に共有して支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		標準化されたツールを積極的に使用する
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		個々に合わせた支援計画	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員全体会議で立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		固定化しないように随時更新する

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		随時状況に応じたプログラムを提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		職員の勤務体系によって共有が難しい部分もあるので今度改善していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		職員の勤務体系によって共有が難しい部分もあるので今度改善していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録は毎日とり、改善をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	必ず現場職員が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		関係機関との連携を強化する
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		関係機関との連携を強化する
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		療育支援事業を導入している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		現在実施していない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者との連携は日々行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		3カ月に1回の頻度で勉強会や説明会を開催している	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明をしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		定期的に面談やアンケートを実施	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		説明と同意をおこなっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて対応している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会や勉強会を適宜開催している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		随時適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		HPや月々のお知らせをしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		厳重に取り扱っている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		様々なツールを通して意思疎通を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		地域の催しには参加しているが開催は実施していない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		HPへの掲載やお知らせを行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		開催頻度を増やす
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時に確認と随時保護者からの聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		十分な安全確保の上サービス提供している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		適宜説明などを行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		職員間で再発防止のため共有している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修に参加している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		契約時に十分に説明と同意を行っている		